

イノベーションの推進 **BX**

エネルギー分野および非エネルギー分野における社会課題の高まりに対して、「グループ総合力」という強みを活かしつつ、イノベーションをさらに加速することで、新たな価値を創出して幅広く解決策を提供します。当社グループはイノベーションを「新規事業・サービスを生み出す力」と「既存事業のオペレーション変革力」の両方が優れていること、「イノベーションが自律的かつ持続的に巻き起こせる仕組み（システム）」が確立されていることと定義しており、これらを推進するための体制強化や仕組みの構築を行っています。

イノベーションに向けた社外連携・体制強化

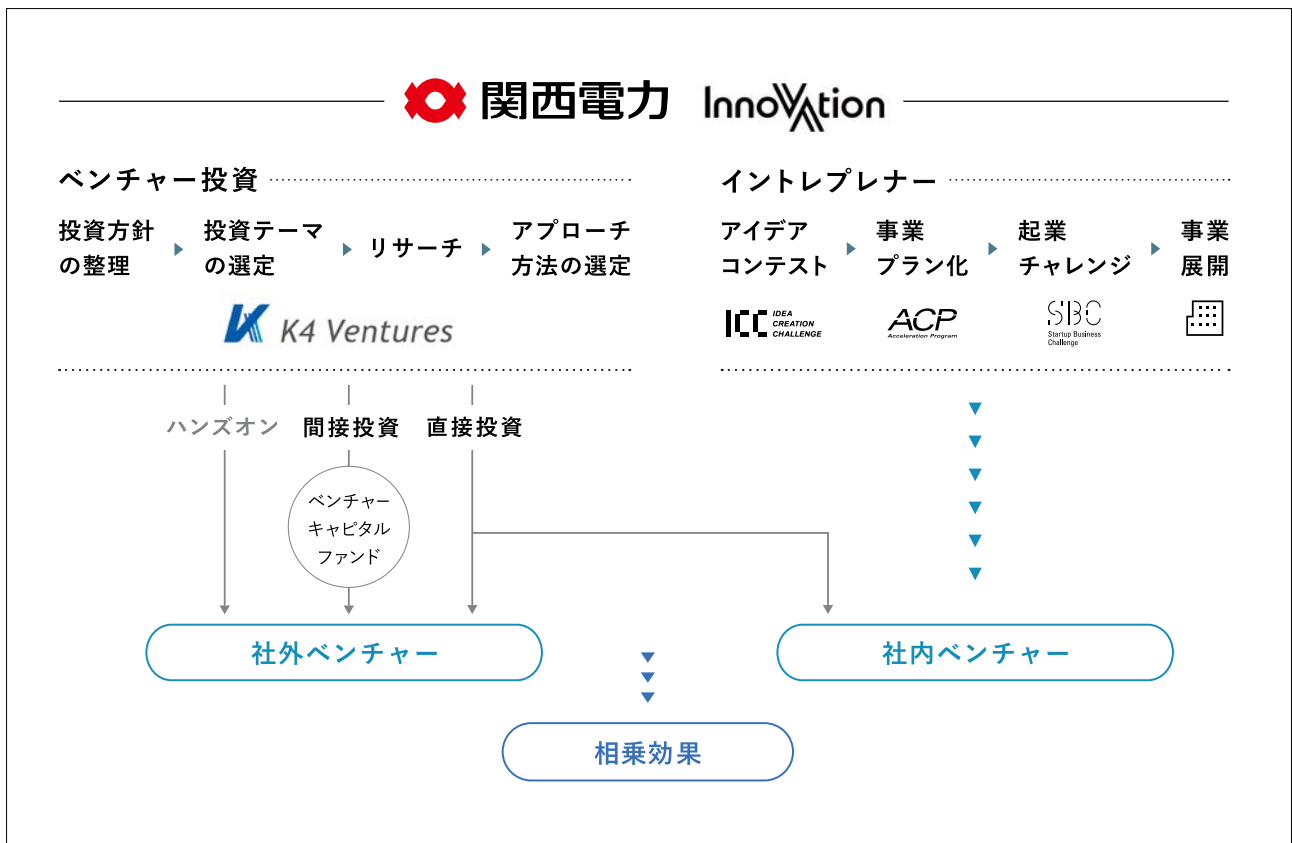
グループ総合力という強みを活かしつつ、イノベーションをさらに加速するためのイノベーションハブとして経営企画室に「イノベーションラボ」を2019年に設置しました。

「イノベーションラボ」では、グループ全体のイノベーションの推進や総合調整・舵取りを担うことに加え、社外ベンチャー企業とも連携しながら、エネルギー分野はもとより非エネルギー分野においても新規事業・サービスの創出

を一層加速させていきます。

エネルギー分野では、ゼロカーボン社会を見据えて、再生可能エネルギーや蓄電池といった新たなエネルギー関連ビジネスの検討を進めています。

非エネルギー分野では、「農業・食料」領域を中心に、中核事業の強みを活かしながら、社会課題解決に貢献する事業開発活動を展開しています。



[WEB](#) 詳細は… [イノベーションラボ](#)

(同) K4 Ventures

当社グループでは、革新的な技術やビジネスモデルを有するベンチャー企業との連携を強化するため、(同) K4 Ventures (以下、K4V) を投資主体とし、個別のベンチャー企業に対する直接投資とベンチャーキャピタルファンドに対する間接投資を行っています。K4V は出資を通じて有望なベンチャー企業の成長を支援し、当社や当社グループ会社との協業を推進していきます。



経営理念
ベンチャー企業と共に新しい領域、未知の領域に挑む

投資対象および投資分野

投資対象

- 総合エネルギー・送配電、情報通信、生活・ビジネスソリューションの既存事業領域において、協業により、双方の事業成長が見込めるベンチャー企業
- 当社グループの新事業領域において、革新的な技術・ビジネスモデル等を有するベンチャー企業

投資分野
蓄電池、モビリティ、ロボット、AI、IOT、ビッグデータ、農業・食料 など

対象ステージ

基本的に全ステージ対象



投資実績

【間接投資】

発表日	投資先
2018. 6.20	EEI4号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合
2018. 9.19	Scrum Ventures3号ファンド
2019. 9.10	Global Catalyst Partners Japan2号ファンド
2020. 2.28	Future Food Fund1号ファンド
2022. 1.26	ANRI GREEN1号ファンド
2022. 6.30	ICJ2号ファンド

【直接投資】

発表日	投資先
2018. 5. 7	Ubie 株式会社
2018.11. 1	株式会社 VPP JAPAN

2018.12.28	株式会社 SIRC
2019. 3. 1	エディットフォース株式会社
2019. 4.12	CONNEX SYSTEMS 株式会社
2019. 4.15	NExT-e Solutions 株式会社
2019. 5.23	ピクシーダストテクノロジーズ株式会社
2019. 6. 5	株式会社 Space Power Technologies
2019. 7.12	ヒラソル・エナジー株式会社
2019.10.31	エクセルギー・パワー・システムズ株式会社
2020. 6.29	インフォメティス株式会社
2020. 9.30	ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社
2021. 3. 2	Okage 株式会社
2021. 3. 8	テラスマイル株式会社
2021. 9.30	株式会社 ALGO ARTIS
2021.11.30	ウィルポート株式会社
2022. 5.31	株式会社名城ナノカーボン
2022. 5.31	株式会社/パワーエックス
2022. 6.30	スペースワン株式会社
2022. 6.30	株式会社シュークルキューブジャパン

イントレプレナー (社内起業家) 創出制度

当社グループ社員が新規事業案件を提案し、審査に合格すると事業化ができる「かんでん起業チャレンジ制度」を1998年から運用しています。2018年以降、新規事業のアイデアを出し合うコンテスト「アイデア創出チャレンジ」と、アイデアを事業プランまで高める「加速支援プログラム」を追加し、社内起業を3ステップで支援する制度としています。

かんでん起業チャレンジ制度では、2022年6月末時点で10件を事業化し、そのうち5社が事業を続けています。

〈事業継続中の企業〉

- 2021年10月設立 Yaala (株)
- 2020年 2月設立 (株)猫舌堂
- 2019年10月設立 TRAPOL (同)
- 2004年 9月設立 (株)気象工学研究所
- 2000年 1月設立 (株)かんでんエルファーム

イノベーションの推進 **BX**

新規事業への挑戦

(株) ポンデテック

企業の使用済パソコンを買い取り、SSDの換装やメモリ増設、清掃を実施。安価で安心して使える高品質なパソコンを販売しています。再生パソコン販売事業への参入は当社初となります。

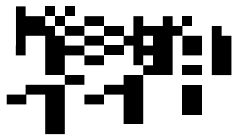
障がい者特例子会社と協業し、障がい者に再生業務で活躍いただくことで、就労選択肢の拡大に貢献するとともに、再生パソコン事業を拡大していきます。



[WEB](#) 詳細は… [ポンデテック](#)

ゲキダンイイノ(同)

イノベーションラボから生み出された、時速5キロのモビリティサービスiinoを通じ、「Mobility」と「文化・エンタメ」との重なり合う領域で事業を展開します。時速5kmだからこそ感じることでできる空間の演出、その場所ではしか体験できないコンテンツの提供により、利便性のみならず、娯楽性や快適性も兼ね備えた、これまでにない移動を実現し、走行する場所の魅力をより一層引き立てることに貢献します。



2022年2月
神戸三宮にて走行検証した新型自動走行モビリティ「type-S712」

[WEB](#) 詳細は… [ゲキダンイイノ](#)

海幸ゆきのや(同)

食領域ではグループ初の事業として、海洋環境負荷、漁業者の労働環境等の社会課題を解決し、SDGsに寄与する「陸上養殖事業」を開始。電力消費を伴う養殖設備は、余剰電力を食品に転換する等、エネルギー資源の有効活用にも寄与すると期待。薬品・添加物不使用、生食可能な抜群の鮮度と車海老に匹敵する旨味を持つ「幸えび」の生産・販売を通じて「食の『あたりまえ』を守り、創るため、価値ある水産物をお客さまのもとへ」という理念を実現していきます。



[WEB](#) 詳細は… [海幸ゆきのや](#)

Yaala(株)

かんでん起業チャレンジ制度を通じ、2021年10月に設立。Yaalaは、乳児を持つ家族を対象に、一定期間滞在できる施設を提供します。加えて専門家の派遣や周辺地域との交流機会を通じて、施設利用者の産後生活を支援します。

Yaalaは「新たな家族のスタートをもっと特別な時間に」というコンセプトのもと、子育てをする家族の家事や育児の不安を解消し、家族のライフスタイル、キャリアにかかわらず、誰もが自分の生き方を諦めることのない世の中に変わっていくことに挑戦します。



[WEB](#) 詳細は… [Yaala](#)

(株) 猫舌堂

かんでん起業チャレンジ制度を通じて、2020年2月に設立。猫舌堂は、元看護師である代表の柴田が、自身のがん経験により食べることへのバリアを実感したことから、同じ境遇の仲間と一緒に起業した会社です。

どなたでも心地よく使えるオリジナルカトラリー(スプーン、フォーク等)の販売、および同じ悩みを抱える人が集いつながるコミュニティを通じて、食べる喜びを取り戻すきっかけをお届けしています。



猫舌堂®



[WEB](#) 詳細は… [猫舌堂](#)

猫舌堂オリジナルカトラリー

TRAPOL(同)

かんでん起業チャレンジ制度を通じて、2019年10月に設立。旅行者と現地に住む人(ローカルフレンド)をつなげて「人」が放つエネルギーに触れる、ライフチェンジングな旅を提供しています。旅を通していまに熱狂して生きる「人」のエネルギーを増幅させるVital Platformをめざします。



[WEB](#) 詳細は… [TRAPOL](#)